



事業所における自己評価総括表

事業所名					
保護者評価実施期間	R8年 1月 21日		～	R8年 2月 7日	
保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8	
従業者評価実施期間	R8年 1月 21日		～	R8年 2月 7日	
従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4	
事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 4日				

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意識が高く、こどもに対しいろんな引き出しを使ってアプローチができる。また情報共有をしながらよりよい支援に活かすことができる。	定例会議を行い、支援の反省点、改善点を共有する。こどもの情報だけでなく、送迎時やモニタリングで知れた保護者の悩み事なども周知し、背景を汲み取った支援ができるようにしている。	良いことも悪いことも言い合えるような、雰囲気の中のいい職場関係を構築していく。また研修できる機会をつくり、手段や情報の更新を定期的に行っていきたい。
2	送迎時や連絡帳、HUGなどを活用した日々の活動報告を丁寧に行い、支援のやり方や子どもたちの成長をタイムリーに共有している。保護者からは自宅で試したらうまくいったなど高い評価をいただいている。	文字だけでは伝わりにくい活動内容を視覚化するため、写真を添えて毎日配信している。ご家庭での会話のきっかけ作りや、どんなことが出来るようになったのかなど療育の効果を実感しやすいように整えている。	ご家庭での様子も教えていただき、保護者様と事業所との双方向支援をしていきたい。
3	日常生活の基盤となる困り事(こだわり・偏食・かんしゃく)を改善、身辺自立の確立、将来の基礎体力を最大限に伸ばすことを目的に支援を行っている。	かんしゃくやこだわりに対しては、マイルールに繋がらないよう環境調整をしている。また偏食や身辺自立については、スモールステップの課題設定をし成功体験を積み重ねられるようにしている。	事業所内での改善だけでなく、ご家庭でも一貫した対応が出来るように、家庭でできる環境設定や声掛けのコツを共有していきたい。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	常時定員がいっぱいの状態で、新規利用者を受け入れることが出来ない。	定員は変えられないため、解決方法を模索していく。	周辺の事業所と連携をとり、保護者の方に情報を提供していく。
2	事業所に面して交通量の激しい国道があり、注意が必要。園庭などが無い。	玄関は子どもたちの手の届かない位置に施設設置、送迎時の安全誘導の徹底。また園庭がない環境を補うため、公共施設を借りて運動をしたり、室内でもサーキットを取り入れ、十分な運動量を確保できる環境設定をしている。	今後も継続的に取り組んでいく。また所外活動やスタッフの配置の再確認など、子どもたちが安全に、かつ活動的に過ごせる体制を追求していく。